

令和2年度二本松北小学校 学校だより No. 43

## 輝け!北っ子!

令和2年 9月 1日

文責:校長 大内雅之

## 自転車 ありがとうございます。 〜皆さんの善意 大切に使わせていただきます〜

8月26日付けの学校だよりで「自転車の提供」をお願いしたところでしたが、急な、しかも 大変身勝手なお願いにもかかわらず、早速自転車8台をご寄付いただきました。本当にありがと

うございます。ご自分の家で使わなくなった自転車だけでなく、職場の方にも声を掛けて集めてくださるなど、たいへんご苦労をおかけいたしました。

寄付していただいた方には、いただいた自転車と一緒の写真撮影・学校だよりへの掲載許可をお願いしたところでしたが、「ちょっと写真(名前)は・・・」とおっしゃる方もおり、紹介できる範囲でご紹介いたします。

- 本校介助員の菅野恵美子様から
- 1年保護者様から
- 2年大内快斗さんの保護者様から
- 5年鈴木愛椛さんの保護者様から
- 5年保護者様から
- 6年保護者様から

皆さんの善意の自転車を大切に使わせていただきます。





とりあえず、随分と自転車が集まりましたので、一旦、受付は**終了**とさせていただきます。 ご協力本当にありがとうございました。

## ちょっといい話 ~気づくことは「気にかけていること」~

28日、朝、いつものように校門前でこどもたちを出迎えていると、5年生の男の子がなにか手に持って登校してきました。よくみると「空き缶」でした。ちょっと気になったので話しかけてみると、「通学路に落ちていたので拾ってきました」とのこと。空き缶を拾ってくれたのです。すばらしい気づき。すばらしい行動。その場でその子を大いにほめました。こんな行動ができる子がいることのうれしさはもちろん、こんな行動ができる子がもっともっと広がっていったらいいなと楽しみになりました。

その後、子どもの行動から、登校途中の道に落ちている空き缶が あったら自分はどうだろうかと考えていました。そもそも空き缶に



気がつくのだろうか。景色の一部になってしまって気がつかないのではないだろうか。気がついたとして、はたして拾うだろうか。見て見ぬふりをしてしまうのではないだろうか。・・・。気づくこと自体、日頃から気にかけている証拠なのでしょう。みなさんはどうでしょうか。

## 保護者の皆様からの声をお待ちしています。